

## 「花尾小学校の大平獅子舞踊り伝承活動の取組」

### 1 学校名

鹿児島市立花尾小学校

### 2 学年・人数

2年生から6年生（計21人）

### 3 日時・場所

- (1) 練習日時・場所：平成30年1月13日(土) 総合的な学習・創意 花尾小体育館  
平成30年1月29日(月) 総合的な学習・創意 花尾小多目的教室  
平成30年2月10日(土) 総合的な学習・創意 花尾小多目的教室
- (2) 発表日時・場所：平成30年5月20日(日)（予定）花尾小学校・花尾地域合同大運動会 花尾小校庭

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

- (1) 名称 大平獅子舞踊り（おおひらししまいおどり）

(2) 由来

大平獅子舞踊りは、1592年島津義弘公が朝鮮出兵するときに兵の士気を高めるために踊ったとされ、獅子との戦いを描いた狂言調の踊りは、五穀豊穡と無病息災を祈願する郷土芸能である。

終戦後、しばらく踊りが途絶えていた時期もあったが、昭和40年に復活し、大平自治会の皆さんや文化財少年団によって、大切に受け継がれている。

平成17年に鹿児島市の無形民俗文化財に指定された。

(3) 構成等

この獅子舞は、前踊りと後踊りがあり、前踊りは手踊り1つと3尺棒踊り、鎌踊り、6尺棒踊りからなり、後踊りは獅子舞踊りである。

踊りはまず、場所取りの仮面の人が出て行き、その後で小学生が踊る「はんやれ」が始まる。踊り手は、かすりの着物に鉢巻き・たすきがけをし、わら草履を履いて踊る。前踊りは、田植え歌に合わせて踊り、椿の木（榊）に御幣を下げたものをたてて歌う。後踊りの獅子舞は、獅子と捕り手の格闘劇があり、めでたく獅子を討ち取って終わりとなる。獅子舞発達の原初形態が見られる、素朴で民俗学的に価値の高いものとされている。

### 5 保存会や地域との連携の具体

今年度から、「岩戸疱瘡踊り」の伝承活動と同様に「大平獅子舞踊り」の伝承活動に取り組んでいる。総合的な学習の時間に地域の方と関わりながら、その歴史や由来、踊りの所作の意味、思いや願いを調べて報告したり、実際に地域との合同運動会（5月）で披露したりするなど、探究的に学んでいる。

講師は大平自治会の大平獅子舞保存会に依頼し、1月と2月に3回、道具や踊り方について学んだ。平成30年度の運動会に向けて、次年度は4月と5月に保存会を招いて探究活動を計画している。なお、踊りに必要な用具（木刀等）は保存会から借用している。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

今年度から、学校と地域が連携・協力しながら大平獅子舞踊りを継承していくために、総合的な学習の時間の探究活動として、位置付けた。そのため、単に「大平獅子舞踊り」の踊り方を練習するのではなく、由来や歴史、所作や衣装、遊具の意味等についても追究するように計画を立てた。

本学習では、原則として現2・3年生が手踊りである「はんやれ」を習い、現4～6年は剣（木刀）を使った「三尺棒踊り（4人1組）」を習っている。文化財少年団としてこれまで練習し奉納踊りに参加した経験がある児童が6人いるので、児童同士が教え合う場も設けた。

## 7 取組の実際



【1月13日 三尺棒踊りの練習（1回目）】



【1月13日 ハンヤレの練習（1回目）】



【1月29日 獅子舞踊りの説明】



【1月29日 児童同士の教え合い】

## 8 参加児童・保存会・教員等の感想・意見

【児童の日記から】 大平ししまいれんしゅう 2年女児  
 今日、大平ししまいのれんしゅうがありました。「はんやれおどり」をしました。2回目だけど、うまくいかないところがありました。もっとれんしゅうしたら、ゆれると思います。「三じゃくぼうおどり」は、4年生から6年生がやっています。わたしは、「はんやれおどり」をがんばります。

- 踊りを教えるときに、場所を入れ替わるところや小さな細かい動きを教えるところが難しかった（6年男児）。
- 見た目はかんたんそうに見えたけど、実さいにしてみて、とてもむずかしかった。右側と左側が交代するところで回転するとき、向きが逆になってしまうので、そこを特にがんばりたい（3年女児）。
- 児童は花尾地域の伝統芸能の練習は、「岩戸疱瘡踊り」に続いて2つ目であるが、「大平獅子舞踊り」も2回の練習で、かなり上達した。次年度の5月に行われる合同運動会では、地域や保護者の皆さんに立派な踊りを披露できるだろう（教職員）。
- 子どもたちはみんな熱心で、覚えるのも早い。地域に残る伝承芸能「大平獅子舞踊り」を是非継承してほしい。5月の合同運動会で披露して、できれば9月の「秋の大祭」でも大勢参加して、踊ってほしい（保存会の方から）。